

# かま自立相談支援センターに関する事業報告

## 1. 総括

かま自立相談支援センター（以下「センター」という。）で受け付けた相談件数は、昨年度より43件多い2,118件で、この内115件（前年比59件減）が生活困窮にかかわる相談でした。相談の入りは、来所や電話が7割を占めますが、保護課だけでなく、健康課、地域包括などからの相談も増えているため、関係機関においてはセンターの存在が認識されつつあるように感じます。一方、地域の中には生活に困窮し、一人で悩み苦しんでいる方々が、まだまだたくさんおられるのも事実で、今年度出会えた一人の方が話した「センターがあることは回覧板等で知っていたが、なかなか行けなかった。困窮が極まったことで、勇気を出して尋ねた。今思えばもっと早く相談に行けばよかった」という言葉には、相談に向く側の葛藤と、悩みや苦しみを聞いた側の責任と役割が端的に表されているようで、強く印象に残っています。来年度に向けては、困窮状態にある方にセンターの存在を少しでも知ってもらい、利用を迷っている方の背中を押すことにつなげたいとの思いで、公共機関・施設、スーパー、遊技場等のトイレに小さな啓発チラシを置く、新たな取り組みをはじめたいと考えています。

また、相談に至った115人の相談内容（困りごと）の延べ件数は299件で、平均すると相談者一人が2.6件（前年比0.4件増）の困りごとを抱えているという結果となりました。その上位は、収入や生活費、家賃やローン、仕事探しや就職、病気や健康・障がい、税金や公共料金に関することとなっています。これらをさらに細かく見ると、特に単身女性からは、「パート収入しかなく生活が苦しい」「年金が少なく生活が苦しい」「学歴も資格もなく、安定した仕事に就けない」「身内や消費者金融からの借金が返済できない」などの相談が、また、若年夫婦からは、「夫の仕事が不安定で、給料が少ない」「夫の仕事が続かず、生活が苦しい」「複数の消費者金融からの多額の借金が返済できない」などの相談が増えています。複雑かつ多様な課題を解決につなげていくためには、相談支援員、就労支援員、家計相談支援員が相談者の思いに寄り添いながら、それぞれが役割分担して支援にあたりるとともに、支援調整会議等をつうじて、関係機関の力を借りるなど、支援の輪を広げていくことが必要だと強く思います。さらには、これら相談者の多くが、困窮が極まった状態で来所されることが多いため、その場の対応に苦慮するだけでなく、生活が一息つくまでに相当の時間を要することになってしまいます。もっと早い段階で、センターなどの相談機関や地域の身近な人に助けを求めたり、誰かが気づいていれば、ここまでの困窮には至らなかったのでは…と思うことも重なりました。必要なのは、早期につながることを目指した予防的な支援やアウトリーチであるため、来年度に向けては、本会が推進する「お互い様」の地域づくりの活動とも連動しながら、取り組んでいきたいと考えています。

就労支援については、本会が無料職業紹介所の許可を得る（平成28年8月1日～平成33年7月31日）ことができたため、ハローワークやフリーペーパーの求人情報を提供するにとどまらず、相談者の希望に則して求人事業所の開拓ができるようになったのは大きな強みとなりました。その一方で、面接に行ってもなかなか就職が決まらなかったり、やっと決まっても短期間で辞めてしまったりするなど、就労支援の難しさを感じることもありました。また、生活が困窮状態であれば、面接に行くためのお金や移動手段がないだけでなく、背広やワイシャツ、靴もない場合があるため、そのフォローも必要になることがわかりました。幸い今回は、保護課や市内の社会福祉法人から自転車や背広等を無償で提供してもらって、面接につなぐことができ、あらためて、関係機関や市内社会福祉法人の力と連携の必要性を実感することとなりました。

年間をとおして、就労支援員による求人情報は117回提供され、21人が一般就労につながったほか、3人が増収となりました。また、無料職業紹介所には、13事業所が求人登録し、11業種62人分の求人がありました。また、求職については9人が登録し、3人が当紹介所を介して面接を受け、1人が就職につながりました。

家計相談支援については、今年度から委託を受けて取り組みました。この事業には、家計表やキャッシュフロー表を活用して、「家計」に特化した視点から相談者の課題と現状を明らかにし、相談者自身による家計管理の意識を高めたり、家計以外の課題への気づきをつうじて、家計を安定させていくことが期待されています。

相談の対応については、アセスメント段階から相談支援員（自立相談支援機関）と連携・協働し、必要に応じてそれぞれがプラン案を策定するようにしています。家計支援を必要とした16人の相談内容（困りごと）の延べ件数は25件で、その内容の上位は収入や生活費、債務、家賃やローンに関してでした。家計支援員は、相談者とともに家計のチェックやキャッシュフロー表を作成するのはもとより、内容によって債務残高を確認するための取引履歴の開示請求、借金整理に向けた法律相談への同行、他の支援制度（生活福祉資金、住居確保給付金など）へのつなぎなどに努めました。現状においても、多重債務で生活が困窮している方が多いため、今後は、弁護士等の司法関係者と連携し、任意整理や自己破産等の手続きを支援することも増えてくると思います。

生活福祉資金貸付事業については、新規相談が138件（前年比17件減）、貸付件数は40件（前年比30件減）、貸付総額は8,246,000円（前年比10,195,000円減）となりました。総合支援資金と緊急小口資金の相談については、センターの利用が必須となっているため、貸し付けに際して自立相談支援機関としての視点で支援方針を伏しています。今年度、総合支援資金（生活支援費、住居入居費、一時生活再建費）及び臨時特例つなぎ資金、住居確保給付金のすべてを利用された方が、結果的に生活保護に至ってしまったため、特に総合支援資金の紹介の難しさを感じています。

また、教育支援資金については、日本学生支援機構など、多制度からの資金が入るまでの建て替えという位置づけで、貸し付けを行っていますが、専門学校や大学進学のための学費が高額となっている現状においては、相談を受ける段階で、卒業までの総経費を把握し、かつ卒業後に返済できる額なのかについても一緒に考え、卒業後の返済見通しを立てていく必要があると思います。

フードバンク事業については、初回相談の時点で「食べることに困っている」との訴えがあれば、お米、乾麺、缶詰など当面の食品を提供し、困っている「いま」を支えています。食材は、嘉麻市職員、市内社会福祉法人などから無償で提供いただいたもので、今年度当初は、在庫が不足することもありましたが、障がい者支援施設清浄学園が4月から、また障がい者支援施設第2さくら学園が12月から毎月提供してくださるようになったため、在庫不足の不安はなくなりました。

年間をつうじて、延べ71件の協力があり、食品及び物品を必要とした61人に、延べ141回（食品136回、物品5回）届けることができました。

## 2. 事業実績

### （1）相談受け付け等に関すること

相談件数 2,118件（来所476件 訪問365件 電話1,210件 メール5件 同行28件 関係機関から34件）

#### ①初回相談

件数115件（来所45件 電話36件 転送電話1件 メール2件 関係機関等から31件）

## ②年 齢

人数 115 人 (21 歳～30 歳 15 人 31 歳～40 歳 19 人 41 歳～50 歳 18 人 51 歳～60 歳 21 人 61 歳～70 歳 27 人 71 歳～80 歳 8 人 81 歳～90 歳 4 人 不明 3 人)

## ③性 別

人数 115 人 (男性 64 人 女性 51 人)

## ④相談内容 (複数)

相談内容延べ件数 299 件 (病気や健康・障がい 32 件 住まい 14 件 収入や生活費 88 件 家賃やローン 34 件 税金や公共料金 31 件 債務 19 件 仕事探しや就職 33 件 仕事上のトラブル 1 件 家族関係・人間関係 4 件 子育て・介護 3 件 ひきこもりや不登校 2 件 食べる物が無い 24 件 その他 14 件)

## ⑤スクリーニング結果

スクリーニング件数 115 件

(情報提供や相談のみで終了 19 件 他の制度や専門機関につなぐ 25 件 引き続き支援を継続する 64 件 プランを策定し継続支援する 6 件 支援途中で中断・終了 1 件)

### ※他の制度や専門機関につないだ内訳 (詳細内訳 複数)

件数 37 件 (本会生活福祉資金貸付事業 17 件 保護課 15 件 健康課 1 件 こども育成課 1 件 ハローワーク 1 件 医療機関 1 件 県営住宅供給公社 1 件)

## ⑥自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 1,424 回 (電話 807 回 転送電話 46 回 来所 296 回 訪問 237 回 時間外訪問 12 回 同行 23 回 メール 3 回)

## ⑦支援プランの策定状況

自立支援プラン策定件数 44 件 (新規プラン 9 件 再プラン 29 件 中断 2 件 終了 4 件)

家計支援プラン策定件数 16 件 (新規プラン 7 件 再プラン 9 件)

## (2) 支援調整会議に関すること

### ①支援調整会議の開催

第 1 回 開催年月日 平成 28 年 4 月 25 日 (月) 出席者数/9 人

協議内容/・再プラン案の検討 (3 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 障がい者相談支援センター 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

第 2 回 開催年月日 平成 28 年 5 月 27 日 (金) 出席者数/5 人

協議内容/・再プラン案の検討 (1 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター  
その他/平成 27 年度 かま自立相談支援センター事業報告について

第 3 回 開催年月日 平成 28 年 6 月 27 日 (金) 出席者数/7 人

協議内容/・再プラン案の検討 (2 件)・新規プラン案の検討 (1 件)・家計新規プラン案の検討 (1 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

第 4 回 開催年月日 平成 28 年 7 月 27 日 (水) 出席者数/6 人

協議内容/・再プラン案の検討 (3 件)・新規プラン案の検討 (1 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 健康課 障がい者・就業支援センターBASARA 自立相談支援センター

第 5 回 開催年月日 平成 28 年 8 月 31 日 (水) 出席者数/6 人

協議内容/・支援終了プラン案の検討 (2 件)・支援中断プラン案の検討 (1 件)・新規プラン案の検討 (1 件)  
・家計新規プラン案の検討 (2 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 就労・生活支援センターBASAR 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

その他/嘉麻市社会福祉協議会 無料職業紹介所の開設について

第 6 回 開催年月日 平成 28 年 9 月 28 日 (水) 出席者数/7 人

協議内容/・再プラン案の検討 (2 件)・家計再プラン案の検討 (1 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク こども育成課 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

第 7 回 開催年月日 平成 28 年 10 月 28 日 (金) 出席者数/9 人

協議内容/・再プラン案の検討 (5 件)・家計再プラン案の検討 (1 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 健康課 就労・生活支援センターBASARA 障がい者相談支援センター 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

第 8 回 開催年月日 平成 28 年 11 月 28 日 (月) 出席者数/7 人

協議内容/・新規プラン案の検討 (3 件)・家計新規プラン案の検討 (2 件)

出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 健康課 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター  
その他/フードバンク食品提供のお願いについて

第 9 回 開催年月日 平成 28 年 12 月 22 日 (木) 出席者数/6 人

協議内容/・再プラン案の検討 (3 件)・支援終了プラン案の検討 (1 件)・新規プラン案の検討 (2 件)  
・家計再プラン案の検討 (2 件)・家計新規プラン案の検討 (1 件)

出席関係機関・団体/保護課 こども育成課 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

- 第10回 開催年月日 平成29年1月25日(水) 出席者数/6人  
 協議内容/・再プラン案の検討(3件)・支援中断プラン案の検討(1件)  
 ・家計新規プラン案の検討(1件)・家計再プラン案の検討(1件)  
 出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター
- 第11回 開催年月日 平成29年2月24日(金) 出席者数/7人  
 協議内容/・再プラン案の検討(3件)・新規プラン案の検討(1件)・家計再プラン案の検討(2件)  
 出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 健康課 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター
- 第12回 開催年月日 平成29年3月29日(水) 出席者数/7人  
 協議内容/・再プラン案の検討(4件)・支援終了プラン案の検討(1件)・家計再プラン案の検討(2件)  
 出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク こども育成課 本会コミュニティワークセンター 自立相談支援センター

### (3) 就労支援に関すること

#### ① 支援状況

- ・情報提供 117回 ・就労等につながった件数 24件
- 【一般就労 21件 (飯塚スイミングスクール 多田の里 (株)ライフキング (株)アートリンク (株)サンウエックス ナナセカンパニー (有)日本ダストサービス トキワビル商会 (株)ショウエイ九州工場 (2件) 総合開発企業組合 第二稲穂園 飯塚市立病院 日創プロニティ(株) エコテック(株) シルバーハウス (株)テクノスマイル 筑豊学園 クロダルマクロージング(株) たちばな苑 モスバーガー穂波店)】
- 【増 収 3件 (協和介護(有) (株)みづま めんくい亭)】

### (4) 啓発等に関すること

- ・かま自立相談支援センターの利用促進につなげるため、A4サイズの啓発チラシ(8,000枚)及び二つ折りハガキサイズの啓発チラシ(2,000枚)を作成した。

### (5) センター機能の充実に関すること

- ①備品等の整備 電子掲示板2台(RK12090) ボイストレック1台(OLYMPUSV-843)

### (6) 家計相談支援事業に関すること

#### ① 初回相談

件数 16件 (来所 9件 訪問 7件)

#### ② 年 齢

人数 16人 (21歳～30歳 1人 31歳～40歳 1人 41歳～50歳 4人 51歳～60歳 2人 61歳～70歳 6人 71歳～80歳 2人)

#### ③ 性 別

人数 16人 (男性 9人 女性 7人)

#### ④ 相談内容(複数)

相談内容延べ件数 25件 (収入や生活費 16件 家賃やローン 2件 税金や公共料金 1件 債務 4件 その他 2件)

#### ⑤ スクリーニング結果

スクリーニング件数 16件 (他の制度や専門機関につなぐ 2件 引き続き支援を継続する 7件 プランを策定し継続支援する 7件)

#### ※他の制度や専門機関につないだ内訳

件数 2件 (弁護士 1件 司法書士 1件)

#### ⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 170回 (電話 82回 来所 13回 訪問 70回 同行 5回)

### (7) 住居確保給付金の窓口業務に関すること

#### ① 相談状況

実人数 1人 延べ人数 4人

#### ② 申請状況等

申請件数 1件 支給決定 1件 支給期間 3ヵ月 保護課からの支給金額 84,800円 (3ヵ月の総額)

### (8) 生活福祉貸付事業に関すること

#### ① 相談・貸付等の状況

- ・相談件数 514件 (新規相談 138件 継続相談 376件) 貸付件数 40件 貸付総額 8,246,000円
- ・貸付資金種類 福祉資金福祉費 3件 304,000円 総合支援資金 3件 1,094,000円 臨時特例つなぎ資金 1件 100,000円 緊急小口資金 20件 1,177,000円 教育支援資金 (教育支援費 5件 3,116,000円 就学支度費 8件 2,455,000円)

#### ※総合支援資金使途内訳(詳細内訳 再掲)

生活支援費 1件 450,000円 住宅入居費 1件 44,000円 一時生活再建費 1件 600,000円

#### ※緊急小口資金使途内訳(詳細内訳 再掲)

生活保護受給までのつなぎ 13件 638,000円 初任給までのつなぎ 4件 350,000円 満額給料のつなぎ 2件 140,000円 一時的な支出増(医療費支払い) 1件 49,000円

## ②滞納世帯への働きかけ

- ・滞納状態にある借受人及び連帯借受人に対し、センターの存在を知らせて相談につなげるため、5月、8月、11月、2月に払込票とともにセンターの案内チラシを郵送するとともに、民生委員の償還指導に際しても届けてもらった。

## ③民生委員児童委員を対象とした生活福祉資金研修会の開催

開催年月日・時間 平成29年1月31日(火) 午後1時30分～午後3時30分 参加者数51人 会場/夢サイトかほ 文化ホール

研修1「生活福祉資金貸付事業における民生委員児童委員の役割」

説明 福岡県社会福祉協議会 生活福祉資金課 課長 亀山 真樹さん

研修2「生活困窮者支援の現状と課題」

説明 かま自立相談支援センター 主任相談支援員 小川 史佳さん

## (9) フードバンク事業に関すること

### ①事業の啓発

- ・食品の在庫が少なくなって、事業の実施に支障が出そうになったため、食品提供に関するチラシを作成し、嘉麻市行政職員、本会職員、また、市内の社会福祉法人に協力を呼びかけた。平成28年1月28日(木)から随時

### ②事業への協力状況

- ・食品及び物品の協力件数71件

【嘉麻市役所(総務課3件 人事課2件 職員6件) 介護老人保健施設シルバークア嘉穂1件 障がい者支援施設清浄学園12件 軽費老人ホーム稲穂園1件 特別養護老人ホーム第二稲穂園1件 社会福祉法人稲穂会1件 社会福祉法人ひまわり会1件 障がい者支援施設さくら学園4件 障がい者支援施設第2さくら学園4件 千葉県我孫子市社協1件 嘉麻市民6件 市外の方1件 嘉麻市社協3件 嘉麻市社協職員24件)】

- ・協力いただいた食品及び物品の内訳

【食品】米530.6kg 麺類445食 即席汁物464食 レトルト食品396食 ごはんの友156食 缶詰218缶 調味料127点 飲料水91点 その他2点

【物品】自転車2台 洗濯機1台 冷蔵庫1台 スーツ上着4着 スーツズボン2本 ワイシャツ5枚 ネクタイ2本 靴2足

### ③食品及び物品の提供状況

- ・食品を必要とした方55人 ・食品を提供した延べ回数136回
- ・物品を必要とした方6人 ・物品を提供した延べ回数5回
- ・提供した食品及び物品の内訳

【食品】米462.6kg 麺類629食 即席汁物530食 レトルト食品381食 ごはんの友157食 缶詰186缶 調味料131点 飲料水85点 その他2点

【物品】炊飯器1台 石鹸2個 自転車2台 洗濯機1台 冷蔵庫1台 スーツ上着1着 スーツズボン1本 ワイシャツ1枚 ネクタイ1本 靴1足

### ④食品及び物品在庫一覧(平成29年3月31日現在)

【食品】米105kg カップめん135個 袋めん3袋 うどん3袋 そば1箱 だんご汁1袋 スパゲッティ2袋 棒ラーメン1袋 味噌汁12食入り3袋 味噌汁8食入り3袋 味噌汁6食入り3袋 味噌汁4食入り2袋 味噌汁3食入り8袋 味噌汁7袋 吸い物4食入り2袋 レトルトカレー3箱 レトルトカレー20袋 レトルトカレー4食入り7袋 かしわめし1箱 牛たま丼5箱 親子丼5箱 のりの佃煮3瓶 なめ茸1瓶 ぶりかけ19袋 お茶漬け4食入り1袋 ワンタンスープ2袋 コンソメスープ1袋 かぼちゃのポタージュ1袋 コーンスープ1箱 オイルサーデン1箱 さんまレトルト12袋 さんま缶22缶 いわし缶28缶 さば缶5缶 焼き鳥缶15缶 だしの素1袋 めんつゆ17本 砂糖1袋 濃い口醤油1本 鍋つゆキューブ6個入り1袋 パスタソース6袋 パスタソース2箱 ビーフシチュールウ1箱 赤飯の素1袋 ドリップコーヒー3箱 スティックコーヒー1箱 コーヒー粉9缶 お茶2袋

【物品】炊飯器4台 ポケットティッシュ3個 石鹸13個 スポンジ3個 布巾3枚 タオル2枚 キッチンペーパー1袋 お風呂洗剤4本 消臭スプレー1本 ハンドソープ1本 ボディソープ3袋 シャンプー2袋 コンディショナー2袋 自転車2台 スーツ上着3着 スーツズボン1本 ワイシャツ4枚 ネクタイ1本

## (10) 無料職業紹介所(嘉麻市生活困窮者自立相談支援事業受託)の開設に関すること

### ①許可申請による手続き

- ・本市の生活困窮者自立相談支援事業の利用者を対象とする無料職業紹介所を開設するため、許可申請を行った。平成28年5月24日(火)
  - ・許可申請に伴って、福岡労働局から事業を実施する事務所環境等について、現地調査を受けた。平成28年6月7日(火)
  - ・福岡労働局で開催された許可書交付式において、許可書の交付を受けた。平成28年7月28日(金)
- 許可期間 平成28年8月1日～平成33年7月31日までの5年間(更新手続きが必要となる)

### ②啓発に関すること

- ・無料職業紹介所の利用促進につなげるため、本会社協だより(No.126号)に紹介所開設の記事を掲載するとともに、啓発用チラシ(A4サイズ)を作成した。
- ・市内の社会福祉法人(30施設)及び誘致企業(37社)、嘉麻市商工会議所、嘉麻市商工会、桂川町商工会を訪問し、紹介所の開設を案内するとともに、求人登録の利用を働きかけた。平成28年8月8日(月)～平成28年8月17日(水)

### ③求人登録状況

- ・常用求人登録件数 62 件
- ・求人登録企業及び業種区分

13 社 クロダルマクロージング㈱ (製品製造・加工処理) ㈱フラワーランド豊田 (農業) 三智産業㈱ (商品販売) )  
(㈱コスモスピード (製品製造・加工処理) ケアサービスあさがお (介護サービス) さくら学園 (社会福祉の専門的職業)  
第2 さくら学園 (社会福祉の専門的職業) 市警飯塚市警備㈱ (その他の保安)  
公益財団法人嘉麻市文化スポーツ振興公社 (その他の専門的職業) 西野病院 (その他運搬・清掃・包装等) )  
サンコーケアライフ (介護サービス) 特別養護唐人ホーム明日香園 (介護サービス・飲食物調理)  
嘉麻市社会福祉協議会 (運搬、製品製造・加工処理)

### ④求職登録状況

- ・求職登録者 9 人
- ・年 齢 (21 歳～30 歳 1 人 31 歳～40 歳 2 人 51 歳～60 歳 3 人 61 歳～70 歳 3 人)
- ・性 別 (男性 5 人 女性 4 人)
- ・求人情報の提供 11 件 (当紹介所に登録をしている企業の求人情報を提供した)
- ・紹介状の発行件数 3 件
- ・就職につながった方 1 人  
就職先 クロダルマクロージング㈱

### (11) その他に関すること

研修会等での事業説明及び事例発表

- ・平成 28 年度民生委員児童委員研修会  
日時／平成 28 年 4 月 28 日 (木) 場所／山田市民センター 説明者／渡辺 進
- ・平成 28 年度生活困窮者自立支援制度担当課長会議  
日時／平成 28 年 9 月 21 日 (水) 場所／福岡県吉塚合同庁舎 発表者／小川 史佳